

西日本支部 かわらばん

一般社団法人日本スクエアダンス協会 西日本統括支部 2011.8. 20



理事就任にあたって

西日本統括支部理事（九州ブロック担当）
柴田 邦 俊

去る4月18日 夢かなうことなく、急逝されました井上芳男さんの後任として、理事、九州ブロック長の大役をお受けすることになりました、Cheerful Fukuoka（チアフル福岡）の柴田です。主に九州ブロック内のお世話を担当いたします。皆様方の知恵とパワーを頂きながら、九州のスクエアダンスの活性化に少しでも尽力出来ればと思っています。

西日本支部は範囲が広すぎる、支部を分割してはとの声が出ていましたが、ここに来て「九州ブロックの支部化」が優先浮上、「九州支部」発足の方向で検討して行くことになりました。そこで本年度中に「支部発足検討委員会（仮称）」を立ち上げ、2,3年後をめどに、協議、検討して参りたいと思います。

出来れば、九州のスクエアダンスが復活して25年目を迎えます平成25年度中に、九州の支部化がまとまればと思っています。九州各県の皆様方は勿論、西日本支部を始め全国の皆様方のご協力のもと、ご意見やお知恵を賜りながら進めて参る所存です。どうかご支援の程宜しくお願い致します。

最後に、前日本スクエアダンス協会理事、九州ブロック長、井上芳男さんのご逝去にあたり、謹んで哀悼の意を表します。

西日本統括支部幹事会報告

平成23年5月15日（日）9時から9時50分まで福岡国際会議場4階の401・402室において西日本統括支部幹事会が開催されました。東日本大震災と元九州ブロック長の井上芳男さんの冥福を祈って黙とうした後、S協高瀬会長のあいさつをいただき、議事に入りました。その結果は次の通りです。

- 1 平成22年度事業報告及び決算報告について原案通り承認されました。
- 2 平成23年度事業計画案及び予算案について原案通り承認されました。
- 3 西日本統括支部規約実施細則の改正について原案通り承認されました。
- 4 九州ブロック長井上芳男さんの後任としてCheerful Fukuoka SDCの柴田邦俊さんが選任されました。
- 5 その他
 - (1) 新規クラブの大分マンデースクエアーズの代表松野さんから挨拶がありました。
 - (2) 九州ブロックにおいて支部化を検討中であること。
 - (3) 次回の西日本ジャンボリーは5月26日～27日に愛媛県松山市の道後温泉で開催されること。

(1) 平成 22 年度事業報告及び平成 23 年度事業計画

・平成 22 年度事業報告

< 事業概要 >

事業計画

1. コーラー不在クラブへの支援活動とクラブ少数県を中心に普及活動を実施する。
2. コーラー・キュアー及びクラブリーダーの育成を図る。
3. S 協会員の拡大 (ビギナークラス実施)
4. 新クラブの設立に取り組む。
5. 講習会参加者への参加費補助を実施

実施内容

1. 岡山県と広島県の 2 クラブにコーラー派遣の支援 (交通費の半額補助) を実施した。
2. (1) 指導者を養成するため 3 ブロックでそれぞれスクエアダンス講習会を実施した。
(2) コーラーを育成するための研修会を 3 ブロックでそれぞれ実施した。
3. 各クラブでビギナー生を獲得するためのビギナークラスを実施した。
4. 岡山県で 1 クラブ (赤磐 SDC) が設立された。
5. 3 ブロックで実施したスクエアダンス講習会の参加者に対し、参加費の補助を実施した。

< 主な事業 >

5/5	支部総務委員会	愛媛県松山市
6/5	平成 22 年度 支部幹事会	山口県山口市
6/5 ~ 6	第 26 回西日本 SD ジャンボリー	山口県山口市
9/18 ~ 19	支部スクエアダンス講習会 (四国・九州ブロック)	徳島県阿南市・福岡県久留米市
9/19	四国ブロック幹事会 (ブロック講習会期間中実施)	徳島県阿南市
10/2 ~ 3	支部スクエアダンス講習会 (中国ブロック)	広島県広島市
11/23	支部総務委員会・ブロック代表者会議	広島県広島市
8・1 月	支部の機関紙「かわらばん」を 2 回発行	
3 月	20 日 九州ブロック幹事会 福岡市	21 日 四国ブロック幹事会 高松市
	27 日 中国ブロック幹事会 広島市	

・平成 23 年度事業計画

- 1 スクエアダンスを広く普及するため、コーラー不在クラブへの支援とクラブ少数県を中心に普及活動を推進する。
- 2 指導者の育成を図るため、ブロック講習会、コーラー研修会等を引き続き実施する。
- 3 支部内スクエアダンス役員・会員相互の情報の共有を図るため、ブロック総務委員会等会議を新設するほか、支部内機関紙「かわらばん」の充実を図る。
- 4 九州ブロックの支部化に向けて検討を進める。

< 主な事業 >

H23.4/29	西日本統括支部総務委員会	
5/14 ~ 15	第 27 回西日本ジャンボリー (日本フォークダンス連盟創立 55 周年記念大会スクエアダンス部門として実施)	福岡県福岡市
5/15	平成 23 年度西日本統括支部幹事会	福岡県福岡市
9・10 月	各ブロックスクエアダンス講習会	
11/23	西日本統括支部総務委員会	
H24 年 3 月	各ブロック幹事会	
随時	各ブロックごとのコーラー研修会	
随時	ブロック代表者会議、各ブロック総務委員会等	
年 2 回	機関紙「かわらばん」発行 (8 月、1 月)	



(2) 平成22年度収支計算書及び平成23年度予算書

科 目		平成22年度予算額	平成22年度決算額	平成23年度予算額	備 考
事業活動収入	寄付金収入	5,710,987	5,710,987	4,691,138	前年度繰越金
	事業収入	220,000	5,181,316	2,335,000	
	資質向上事業収入	120,000	1,981,000	2,335,000	各ブロック講習会
	交流事業収入	100,000	3,200,316	0	ジャンボリー参加費
	雑収入	300	9,804	10,000	預金利息
	他会計からの繰入金収入	1,030,000	1,000,500	1,017,300	S協からの支部活動費・県連活動費
	事業活動収入計	6,961,287	11,902,607	8,053,438	
事業活動支出	事業費	677,000	5,664,472	2,850,000	
	普及促進事業費	150,000	156,020	250,000	かわらばん・新クラブ補助・HP経費など
	資質向上事業費	400,000	2,424,153	2,600,000	SD講習会・コーラー研修会費用
	交流事業費	127,000	3,084,299	0	西日本ジャンボリー経費 注)
	管理費	1,320,000	1,546,997	1,385,000	
	会議費	830,000	1,000,285	890,000	支部幹事会・総務委員会・各ブロック幹事会等
	通信運搬費	370,000	353,355	370,000	17県連通信費・振込料他
	役員活動費	55,000	45,000	80,000	支部長他役員10名活動費
	消耗什器備品費	10,000	61,567	10,000	
	印刷製本費	25,000	24,294	25,000	印刷コピー代
	保守料	0	37,496	0	アンプ修理代
	事務委託費	20,000	0	0	H23年度から支部長役員費とする
	雑支出	10,000	25,000	10,000	香典等
		事業活動支出計	1,997,000	7,211,469	4,235,000
	事業活動収支差額(次期繰越金)	4,964,287	4,691,138	3,818,438	
	経常費用計	6,961,287	11,902,607	8,053,438	

注) H23年度 西日本ジャンボリーはFD大会との合同のため交流事業予算は0とする。

(3) 西日本統括支部規約実施細則

西日本統括支部規約の実施に関し必要な細則を次のとおり定める。

- 役員及び幹事が、統括支部幹事会、総務委員会、ブロック幹事会等に出席する場合は、旅費を支給する。ただし、講習会、ジャンボリー等の行事と兼ねて行われる会議については、半額支給とする。
- 本統括支部功労者表彰については、別にこれを定める。
- 会計が幹事でない場合は、会計は、統括支部長の要請により統括支部幹事会等に出席することができる。
- 運営費助成
 - 運営費助成は、日本スクエアダンス協会に登録されたクラブに助成する。
 - 運営費助成の額は、クラブ設立時に1万円とする。
 - 運営費助成は、当該クラブ設立時の1回だけとする。
- 指導者派遣支援助成
 - 指導者派遣支援助成は、日本スクエアダンス協会に新たに登録されたクラブの支援として他のクラブから指導者を派遣する場合に当該クラブからの申請により助成する。
 - 指導者派遣支援助成の額は、指導者の派遣にかかる1年間の交通費(実費)の半額とす

る。ただし、年間5万円を上限とする。

(3) 指導者派遣支援助成は、当該クラブにつき3年までとする。

6. 講習会助成

(1) 講習会助成は、各ブロックで行う西日本統括支部SD講習会に対し助成する。

(2) 講習会助成の額は、SD講習会1回につき5万円、SD講習会でコーラーコース又はリーダーコースを設けた場合はそれぞれ3万円を助成する。

(3) 助成は、事前に西日本統括支部の承認を受けることとする。

7. 負担金

(1) 西日本統括支部主催のSDジャンボリーを開催するときは、参加者から負担金を徴収する。

(2) 負担金の額は、参加者1人につき300円とする。

(3) 負担金は、西日本統括支部の会計に組み入れる。

8. 音響機材借用費

(1) 西日本統括支部で行うスクエアダンス講習会において音響機材を借用した場合は、1講習会、1式につき5,000円を支払う。

(2) 西日本ジャンボリーで音響機材を借用した場合は、1ジャンボリー、1式につき15,000円を支払う。

附則 4項から8項までの規定は、平成23年度から適用する。

総務委員会結果報告

平成23年4月29日(金)に広島市東区民文化センター小会議室において西日本統括支部の平成23年度第1回総務委員会が開催されました。中国、四国、九州各ブロックの総務委員7名が参加し、協議した結果をお知らせします。

1 各ブロック幹事会結果について

各ブロックの幹事会結果が各ブロック長から報告された。

2 平成22年度事業報告と決算について

平成22年度事業報告並びに決算が承認された。なお、西日本統括支部幹事会に提出する決算書は収支計算書とし、備考欄に説明、内訳を入れることとする。

3 平成22年度西日本ジャンボリーの決算について

承認された。

4 平成23年度事業計画と予算案について

平成23年度事業計画及び予算案が承認された。

5 西日本統括支部講習会について

各ブロックで開催される講習会について承認された。なお、四国の講習会では検定がないので、検定を受けたい人は中国ブロックの講習会に参加してほしいこと。

6 各ブロックコーラー研修会について

それぞれのコーラー研修会について情報が交換された。

7 平成24年度西日本ジャンボリーについて

上田総務委員から次の通り説明があった。

・日時 平成24年(2012年)5月26日(土)~27日(日)

・場所 愛媛県松山市 道後にぎたつ会館

・主管 愛媛SDC・松山SDC

8 九州ブロックの支部化について

次の通り話し合わせ、西日本統括支部として九州ブロックの支部化を推進することとされた。

- ・ S協は支部化を推奨している。
 - ・ 九州で準備委員会を立ち上げて前向きに検討する姿勢で臨んでいること。
 - ・ 支部化することの当面の負担はコンベンションであるが、1回パスすれば10年先まで回ってこないのが大丈夫では。
 - ・ ジャンボリーは九州プラス等ですすでに実践済みであり大丈夫
- 9 西日本統括支部の助成等について
以下の事項について承認された。
- (1) クラブ新設時にS協に登録された時点で運営費助成として1万円を助成すること。ただし、設立時の1回のみとする。
 - (2) 指導者派遣支援助成として、S協に新たに登録されたクラブの支援として、他のクラブから指導者の派遣を要請している場合の指導者の派遣にかかる交通費の半額(5万円/年を限度として)を助成する。ただし、3年間に限る。
 - (3) 講習会助成として各ブロックで行うSD講習会について、1回5万円、コーラーコース又はリーダーコースを設けた場合は3万円を助成する。
 - (4) 西日本統括支部ジャンボリーを開催するときは、参加者から1人につき300円の負担金を徴収する。
 - (5) 音響機材借用費として、1式につき、SD講習会については5,000円、西日本支部ジャンボリーについては15,000円を支払う。
 - (6)(1)から(5)までの規定は平成23年度から適用することとし、細則にして残しておくこととする。
- 10 全日本スクエアダンスコンベンション出演者選定基準の改正について
西日本統括支部として次の意見を付すこととする。
- (1) S協会員であること
 - (2) 旧理事、旧支部役員を2期以上した者について貢献点を加える。
 - (3) 点数表の改正として貢献点の共通項目に「資格なし0点」を加え、技量点中全国規模の講師または支部の講師の点数を下げ、ゲスト経験2回以上を加点する。
 - (4) コンベンション要綱の「日本FD連盟公認指導者であること」の項目を本選定基準による旨の記載に変更する。
- 11 かわらばん20号(8月発行)について
次の事項を取り上げることとする。
- ・ 総務委員会及び西日本統括支部幹事会結果
 - ・ 西日本ジャンボリー参加記を各ブロックで1名選出し、願います。
 - ・ 井上芳男元九州ブロック長の追悼記事
 - ・ 新九州ブロック長、総務委員の挨拶文
 - ・ 各ブロック講習会の予定記事
- 12 S協会員2万人獲得に向けて
西日本統括支部の会員2万人獲得のための計画を次のとおりとすること。
- ・ 各ブロックで1クラブ新設を目標とする。3クラブ×10人/年
 - ・ 各クラブで会員2名増を目指す。2名×67クラブ/年
- 13 各ブロックのパーティ等行事予定を情報交換
- 14 その他
大分マンデースクエアーズへS協登録時1万円を助成する。
会議交通費については、今まで通り500円単位の切り上げとする。
次回の総務委員会は11月23日(水)に広島市東区民文化センターで行う。

西日本支部ジャンボリーに初参加して

小倉コスモスクエアーズ
林 恵美子



5月14日土曜日の朝、新装後間もない博多駅に降り立つと、フォークダンスの服装を着た女性が看板を持って出迎えてくれました。フレッシュ、ベーシック講習会等行ったことはありますが、西日本支部ジャンボリーは初めて、福岡国際会議場も初めてです。着くとすでにたくさんの人、レクダンス、フォークダンス...カラフルな衣装で華やかです。

3年前の5月、何気なく近所の市民センターのクラブ案内を見ていて「スクエアダンス」という言葉に出会いました。聞いたこともありませんでしたが、その時、何十年も前になりますが、親戚が住む広島でゴールデンウィーク中に見たフラワーフェスティバルを思い出しました。パレードの中にフォークダンスらしきグループがいて、実に楽しそうに見えました。いつか私もやってみたいものだと思に残りました。市民センターに電話すると見学に来て良いとのこと。扉を開け「スクエアダンスって何ですかあ？」

初めて見たスクエアダンスは、私の思い込み、フォークダンス＝オクラホマミキサーとは全く違うものでした。やってみませんか？と言われ、親切な方がシューズを貸してくれ、訳もわからず初めて3年、途中でこれは無理、やめようと何度も思いました。ベーシック、メインストリームとやって来て、プラス入門を始めたころは、しまった、早く辞めていればよかったと後悔しましたが、苦節3年、ジャンボリーに参加することができました。

初めて聞くコーラーさんは慣れなくて、コールを聞き取ることができません。あれ？と思っていると、相手をつとめてくれたコスモの方が繰り返して言ってくれます。なんとかセットを崩さずに済みました。だれか相手を見つけないと...とボーと立っていると背の高い男性がにこやかに「お願いします。」とても上手なリードで、緊張していた私も笑顔がこぼれます。真似して跳び上がって、楽しかった！MSしか参加できないので、プラスの時は座って皆さんを眺めます。いつかこんなふうに踊れたらいいけれど。あ、このコスチュームは可愛い、こちらの方も素敵、と楽しみは尽きません。

方向音痴の私と一緒にJRに乗って連れて行ってってくれたコスモの先輩方、パートナーの相手をしてくださった皆さん、お世話になったスタッフの方々、本当にありがとうございました。



第15回全日本フォークダンス大会

S協西日本統括支部 第27回スクエアダンスジャンボリーに参加して

那賀川スクエアダンスクラブ
成松 静代



第15回全日本フォークダンス大会が、平成23年5月13日(金)～15日(日)、博多で開催されました。私は、遠隔地での参加は、今回がはじめてです。那賀川スクエアダンスクラブからは14名が参加しました。5月13日早朝6時バスで阿南を出発しました。晴天にめぐまれ、関門海峡からその眺めもよく、心配した車酔いもせず、車中は楽しく過ごしました。途中、太宰府天満宮を参拝した後、5時、博多グリーンホテルに着きました。チェックインした後、まず、博多駅の地下街でおみやげに博多名物 博多ラーメン、めんたいこ等を買いました。そして、2つのグループに分かれて、友達とおいしく夕食を

しました。

翌日の14日は、さわやかに目が覚めました。いよいよ博多国際会議場5Fでスクエアダンスジャンボリーです。10時からメインストリームとプラス交互のプログラムでした。

初めて聞くコーラーさん。初めて一緒に踊るダンサーの人達。始まるまでは色々心配していたけど「一緒に踊りましょう！」と男性役の人が誘ってくれてどこかのセットに入れました。「よかった。ありがとう。お願いします！」思わず声が出ていました。博多のスタッフの方もよく気をつけてくれて、踊りながらわかりにくいときは「通訳がいるんだね」とアドバイスを入れてくれたり「普段いつもこんな調子で踊っているんだよ」とリードしてくれる人がいて、殆んどスムーズに踊ることができました。5時まで時間を忘れて楽しく踊りに酔いました。



最終15日は、昼まで、また楽しく踊って、帰路につきました。遠方での参加でしたが、徳島では普段経験できないようなことが味わえて本当に幸せでした。皆さんにお世話になり有難うございました。いつか又よい機会にめぐまれて全国の大会に参加できたら良いなと思っております。

oo

追 悼



去る4月18日、久留米スクエアダンスサークル会長であり私の父、井上芳男が逝去しました。1月に65歳を迎えたばかりでした。

フォークダンスを始めた後、1970年の大阪万博でスクエアダンスに出会い、久留米スクエアダンスサークルを創設しました。その頃に母と出会い結婚、その後サークルは一時活動を休止していましたが再開する折に次女の私もダンスを始め、やがて長女もするようになりました。例会には家族で通うのが習慣となり、小学生になる孫が時々セットに入って踊るのを嬉しそうにしていました。

仕事にダンスに、全国といわず海外まで飛び回る父でした。最近ではハワイコンベンションへ行くのが毎年の恒例となっていて、自分のコールで踊ってもらえるんだと嬉しそうに話していました。

そんな父の姿を見ていた私はやがてコールを始め、最近では父に誘われて一緒にコールすることもありました。私は気恥ずかしさもありましたが、父と一緒にできることを喜んでいました。

現在はスクエアダンスを韓国に普及させようと尽力していました。何度も韓国へ通い、韓国の方をこちらの講習会やパーティーに連れて来ることもありました。韓国でアジアコンベンションを開催するのが夢だったようで、そのために努力していたようです。

今年、初めて九州ブロックの理事という役を頂き、日連55周年大会・西日本ジャンボリーの準備にと意欲を出していた折でした。2月4日に肺炎で緊急入院。しかし本当の病気は多発性骨髄腫でした。肺炎が骨髄腫の治療を阻み、効果的な治療ができないまま病魔の進行を止めることが出来ませんでした。

入院中も明るく振舞い、元気になることを信じていました。こんなにも早く逝ってしまったことを、周りはもちろんですが本人が一番驚いていたと思います。

家を空けることが多かった父なので、家に居ないのは慣れていますが、でもダンスの場に居ないのは、とても寂しく感じます。けれど、スクエアダンスが好きだった父の分まで、私たちが家

